

ホクコーバトル®粒剤

- 種類名：イマズスルフロン・ダイムロン・メフェナセット粒剤
- 有効成分：イマズスルフロン-----0.30%
ダイムロン-----5.0%
メフェナセット-----3.5%
- PRTR法指定物質：メフェナセット [第1種] -----3.5%

- 登録番号：第18589号
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
- 登録初年：1993.12.24
- 性状：類白色細粒
- 有効年限：5年
- 包装：3kg×8袋

【特長】

- 移植後5日～ノビエ2.5葉期(北海道は10日～ノビエ2.5葉期)まで使用できる一発処理除草剤。
- 葉害軽減効果のあるダイムロンを含む。
- 10アールあたりの散布量は3kg。

【適用内容】(2014年10月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(北海道、東北) ヒルムシロ	移植後10日～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～埴土	3kg /10a	1回	湛水 散布	北海道
	オモダカ(北海道を除く) クログワイ(北海道を除く) セリ(九州を除く) アオミドロ・藻類による表層 はく離(北陸を除く) コウキヤガラ	移植後 5日～ノビエ 2.5葉期 ただし、 移植後30日まで					全域(北海道を除く)の普通期 及び早期栽培地帯

イマズスルフロンを含む 農薬の総使用回数	ダイムロンを含む 農薬の総使用回数	メフェナセットを含む 農薬の総使用回数
2回以内	3回以内(育苗箱散布は1回 以内、本田では2回以内)	2回以内

【効果・葉害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。
ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロ、クログワイは発生期まで、オモダカ、コウキヤガラは発生盛期まで、セリは再生前から再生始期まで、アオミドロ、藻類による表層はく離(北陸を除く)は発生前までが本剤の散布適期である。田植え前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用することが望ましい。オモダカ、クログワイ、コウキヤガラに対しては所定の使用時期の範囲でなるべく遅く散布する。
オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さないのに必要に応じて有効な後処理剤と組合せて使用する。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業及び植付けはていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 以下のような条件下では葉害が発生する恐れがあるので使用をさけること。
 - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ◆ 軟弱な苗を移植した水田。
 - ◆ 極端な浅植の水田。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避けること。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないこと。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないこと。

- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
散布後は水管理に注意すること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。